

令和2年3月

講習会・セミナーのご案内



一般財団法人日本建築センター
The Building Center of Japan

入門編

応用編

法令解説

技術セミナー

実験演習

構造

新・技術セミナー「地震による地盤と建物の揺れをイメージして耐震安全性を視（み）える化しよう！」

「地震によって地盤が振動することで建物はどうのように揺れるのか？」を掘り下げて考えながら、一般的に高度で難しいといわれる「耐震安全性」について視（み）える化しながら、「地震応答の神髄（しんずい）」を分かりやすく解説します。

■「どのようなしくみで地震が発生するのか？」また、その耐震安全性をどのように視える化するかがテーマです！

『設計した建物がどれくらいの地震に耐えられるのか』

『耐震壁はどうしてこの場所に必要なのか』

『なぜ免震・制振装置をつける必要があるのか』

等というように、設計者として、建築物の耐震安全性について発注者等（顧客）に分かりやすく納得できる説明を行うことが求められています。

そのためには、「耐震安全性の視（み）える化」が重要です。

このセミナーでは、講義と小実験（実演）を通して、「耐震設計の本質」を理解していただくと共に、「耐震設計の専門でない方にも耐震安全性のしくみや地震応答について分かりやすく説明するための、知識やヒント」を学んでいただけます。

■こんな方に最適なセミナーです

「施主から絶対揺れない建物をつくれといわれ苦慮している」方

「意匠担当だが、施主等に対して地震に対する安全性をさまざまなツールを使いながら分かりやすく説明できるようになりたい」方

「既存建築物等の地震対策の重要性について勉強したい」方

「耐震安全性に関するリスクマネジメントについて勉強したい」方

■セミナーの概要

地震による地盤の揺れから、地震応答解析や高度な耐震設計に至るまで、できる限り構造技術者以外の方にも理解できるような教材と実験器具を使いながら、講師と受講者が一緒に納得しながら学習することを通して、耐震安全性を視える化し、更に耐震安全性をマネジメントしていくための知識とヒントを実地に学んでいただく参加型のセミナーです。



講師プロフィール【福和 伸夫（ふくわ のぶお）氏】

所属等：名古屋大学減災連携研究センター長・教授
専門：建築耐震工学、地震工学、地震防災
委員：地震調査研究推進本部：政策委員会、総合部会、内閣府：南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討WG、気象庁：長周期地震動に関する情報検討会、国土交通省：社会資本整備審議会等の委員を歴任



実験演習の一例

主催 一般財団法人 日本建築センター

※本セミナーは、（一社）日本建築構造技術者協会（JSCA）の建築構造士登録更新のための評価対象講習会（予定）です。詳細は、JSCAのHPを参照して下さい。

開催日	開催地	会場	定員
令和2年 3月 10日（火）	東京	こくほ21ビル / 2階会議室 東京都新宿区市谷田町2-29	80名

時間	内容	講師
10:00 ~ 12:00	1. 歴史と地理を通して都市の耐震安全性を診（み）る	名古屋大学 減災連携研究センター長・教授 福和 伸夫
12:00 ~ 13:00	昼 休 憩	
13:00 ~ 14:00	2. 地震と地震動を見て学ぶ	
14:00 ~ 16:00	3. 建物の耐震性と振動応答を見て学ぶ	
16:00 ~ 17:00	4. 南海トラフ地震と首都直下地震への対応	

※プログラムは昼休憩以外の休憩を含みます。都合により、講師・プログラム内容等が変更になる場合があります。

受講料（消費税10%込）			備 考
一般	テキスト込み	19,950 円	<テキスト> 書籍名：「次の震災について本当のことを話してみよう。」 著 者：福和 伸夫 発 行：（株）時事通信社 発行日：2017年11月30日 参考書籍：講義の参考となる書籍です（講習会会場で販売予定） 書籍名：「必ずくる震災で日本を終わらせないために。」 著 者：福和 伸夫、発行：（株）時事通信社 発行日：2019年3月20日 定価：本体1,800円＋税
	テキスト持参	18,300 円	
情報交流会 正会員	テキスト込み	18,150 円	
	テキスト持参	16,500 円	

※テキスト：購入のお申し込みをされた方には、当日お渡しします。購入されない場合は、必ずご持参下さい。

※裏面のご入金方法をご確認の上、お申し込み下さい。

▲▲講習会申込書▲▲FAX : 03-5281-2828

見える化+20190912 (裏)

お申し込み手順・ご注意

1	「本申込書のFAX」又は「BCJ Webサイト： http://www.bcj.or.jp」によりお申し込み下さい。定員に達し次第、受付を終了致します。	3	「複数の請求にかかる代金を一括してご入金される場合」や「申込内容を訂正される場合」は、事前下記問合せ先にご連絡下さい。入金確認後に【参加証】をFAXで送付致しますので、当日受付にご提出下さい。
2	【請求書】は集金代行会社が発行・郵送致しますが、10月に予定されております消費税率の変更に伴い、送付が遅れる場合があります。誠に申し訳ありませんが、予めご了承下さい。「1申し込みにつき1枚」発行しますので、請求書記載の期限内にお支払いをお願いします。	4	主催者側の都合によりセミナーが中止となった場合は、受講料を払い戻します（振込手数料は主催者が負担）。それ以外の理由による入金後のキャンセル、変更及び払い戻しは致しません。

◆問い合わせ先◆ 一般財団法人日本建築センター情報事業部 TEL : 03-5283-0477

新・技術セミナー「地震による地盤と建物の揺れをイメージして耐震安全性を視（み）える化しよう！」

参加会場をお選び下さい (○印をご記入下さい) ▼		▼決済方法をお選び下さい (○印をご記入下さい) ▼	
令和2年 3月 10日 (火)	東京	銀行振込 <small>振込手数料お客様負担</small>	コンビニ決済 <small>振込手数料不要</small>
			ゆうちょ振替 <small>振込手数料不要</small>
受講料 (消費税10%込)		▼ 該当する金額欄に○印をご記入下さい	
費用	一般	テキスト込み	19,950 円
		テキスト持参	18,300 円
	情報交流会 正会員	テキスト込み	18,150 円
		テキスト持参	16,500 円
		テキスト：「次の震災について本当のことを話してみよう。」 ●テキストについて ・テキスト込みのお申し込みをされた方には、当日お渡しします。持参の場合は、必ずご持参下さい。 ●上記「お申し込み手順・ご注意」をご一読下さい	
参加者氏名 (フリガナ)		情報交流会 正会員番号 正会員の方で料金の割引 (正会員価格の適用) をご希望の方は、必ずご記入下さい。ご記入がない場合は、割引になりません。 E -	
勤務先名 (請求書宛名)		部署名・役職名	
請求書送付先 (〒 -) 都道府県		申込担当者氏名 (参加者と同じ場合は記入不要です)	
参加者情報	電話番号 (日中に連絡がとれる番号をご記入下さい)		FAX番号 (こちらに参加証をお送りします)
	◆業種について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 建設業 2. 設計事務所 3. 指定確認検査機関 4. 行政庁 5. 不動産業 6. 住宅メーカー・工務店 7. その他		
	◆担当業務について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 意匠 2. 構造 3. 設備 4. その他		
	◆業務対象建築物の構造種別 (主なもの) について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. RC造 2. S造 3. 木造 4. その他		
	◆担当業務経験年数について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 1年未満 2. 1年以上2年未満 3. 2年以上5年未満 4. 5年以上10年未満 5. 10年以上20年未満 6. 20年以上		
	◆建築関連資格について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 一級建築士 2. 二級建築士 3. 木造建築士 4. 構造設計一級建築士 5. 設備設計一級建築士 6. 建築設備士 7. 該当なし		
	◆講習内容に関する予備知識・経験について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 初心者 2. 内容は概ね理解している 3. 業務等で使用している		
	◆受講理由について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 知識を深めるため 2. 会社の指示・社外研修 3. その他		

個人情報について

お預かりした個人情報は、本セミナーの受付、運営及び当財団のサービスに関する情報提供のために使用するとともに、個人情報保護法に基づき、適正に管理致します。請求書発送等の業務を外部に委託することがありますが、委託先につきましては、適切な事業者を選定し、秘密保持、安全管理等についての契約を締結して、適切な監督を行います。